

第三回小・中学校通学区域 （ 桔梗小・塩尻西小 広陵中・塩尻中 ）

審議会を開催しました



答申案に向けた議論

三回目の審議会が開催されました

11月27日、塩尻総合文化センターで、第三回小・中学校通学区域審議会が開催されました。

冒頭、前回の審議会以降に、教育委員会に寄せられた意見について紹介しました。意見の要旨は次のとおりです。

○国道を越えて通学することに不安を感じている。

○桔梗小の児童数が増加することへの心配などから、今回の通学区域の見直し案に賛成である。

審議会の議論の要旨を紹介します

審議会では、先に行われた住民との意見交換会や学校見学会を踏まえ、議論が行われました。発言の要旨は次のとおりです。

○すべての子どもたちにとって、平等で最高の学習環境を提供しなければならぬと思う。

○市全体の通学区域を見直して検討することが必要と感じる。

○C案でもプレハブは避けられたいが、そこで学ぶ子どもはつらい。他にいい考えはないか。

○未就学児がいる世帯の意見を聞かないと、結論は出しにくい。

○夏暑く冬寒いプレハブで授業ができるのか。現実を見れば子どもは移動はやむを得ない気がする。

○もう11月だが、未就学児の世帯の意見を聞く場があった方がいいと痛感した。

○先日の学校見学会で桔梗小、広陵中を見たが、確かに狭くて、子どもたちにとってそんなにいい条件とは言えない。適正な規模になることが一番望ましいと思う。

○共通事項にあるように、学校の選択制の検討も考えられる。

○ある会議で、通学区域見直しは反対多数と伝えたら、周囲に塩尻西小に行きたい人が多いのに、おかしいじゃないかと言われた。

○塩尻西小を維持するなら、大門商店街に大型の住宅を計画するな

ど、人口増を考えることが必要。

○いずれ塩尻西小の存続を考える際に、通学区域見直しを検討されるので、今すぐ見直す必要はない。

○増築などして現状維持がありたいが、予算の関係もある。

○A～C案に縛られている間は、議論を深めるのは難しい。

○10年後を見据え、新たな案を出していただきたい。

アンケートの実施を提案しました

お子さんのいない世帯や、小学校入学前のお子さんのお住んでいる世帯などを含めて、地域の皆様の意見を広く伺いたいという考えから、教育委員会から審議会に住民アンケートの実施について提案し、了承されました。

住民アンケートを実施します

住民アンケートでは、教育委員会の見直し案への賛否などを伺います。大勢の皆様の御回答をお願いします。

- 時期 12月25日発送予定
- 対象 大門七区の全世帯
- 期限 1月19日（金）（必着）
までに、同封の返信用封筒に封入し、提出してください。

発行 平成29年12月20日 塩尻市教育委員会

通学区域見直しに関する御意見等は、教育委員会事務局こども教育部教育総務課学校支援係に電話（TEL0263-52-0830）又はEメール（gakkou@city.shiojiri.lg.jp）でお寄せください。